



アユ情報

第3号

平成28年4月18日
栃木県水産試験場

1. アユ^そ遡上情報

アユの遡上状況についてお知らせします。

那珂川の状況 (4/18 現在)

- ・茂木地区で、先週に引き続き遡上を確認しました (4/15)。



調査場所 (木須川合流付近)



採捕された天然遡上アユ

<茂木地区での定期調査結果>

平成28年				平成27年			
日付	水温	*採捕尾数	平均全長(mm)	日付	水温	*採捕尾数	平均全長(mm)
4月1日	15.0	12.4	94.5				
4月8日	15.1	9.0	94.0				
4月15日	17.0	12.7	94.0				
				4月22日	15.2	6.2	78.5
				4月28日	19.7	0.5	78.5
				5月7日	19.0	3.3	98.1
				5月14日	19.8	7.5	88.0
				5月21日	21.0	14.0	81.1

*投網1人1時間あたりに換算した採捕尾数

近県の状況（4/18 現在）

- ・茨城県内の久慈川では 2/23 に堅磐堰（河口から約 8km）で遡上が確認されています

茨城県水産試験場内水面支場

H28 年久慈川・那珂川アユ遡上速報第 1 号

- ・多摩川のガス橋付近では、3/23 から遡上が確認されています。

→4 月 17 日までの累計遡上数：9,724 尾（H27 年同時期：12,069 尾）

東京都島しょ農林総合研究センター 平成 28 年アユ遡上調査

- ・荒川の秋ヶ瀬取水堰では、4/6 から遡上が確認されています。

→4 月 14 日までの累計遡上数：15,527 尾（H27 年同時期：1,965 尾）

利根導水総合事業所：平成 28 年度の秋ヶ瀬取水堰稚アユ遡上状況

豆知識～カワウは黒いテグスが見えない？～

カワウは、約 85cm（2kg）ほどの大型の鳥で、1 日に約 500g の魚類を食べます。水中での動きは素早く（最大で秒速 4.7m）、狙われた魚はほとんど逃げ切れないと考えられています。県内には約 2 千羽が生息しており、毎年 1 千羽ほどを駆除していますが、繁殖力の強さと県外からの移入もあり、個体数は増加傾向にあります。



那珂川における黒テグスの設置例

カワウによる水産被害を減らすためによく行われているのが、透明なテグスを河川に設置する方法です。しかし、カワウは学習能力が高く、すぐ馴れてしまうため、効果が長続きしないのが悩みの種でした。そこで、近年注目されているのが黒いテグスです。黒いテグスはカワウから見えにくいため、これが河川に設置されていると、飛来したカワウが気づかずにテグスに接触して驚きます。また、何に接触したのかが分からないため、学習することができません。そうすると、いつまでも怖がって河川に飛来しにくくなるようです。

ただし、黒いテグスは人からも見えにくいため、設置する際には、黒いテグスのところどころに目印を付けたり、看板を立てることも必要です。

連絡先 栃木県水産試験場

電話 0287-98-2888 FAX 0287-98-2885

ホームページアドレス <http://www.pref.tochigi.lg.jp/g65/index.html>